第４回　地区別懇談会【左岸地区】

日時：令和3年7月28日（水）18:30～

場所：西瀬小学校体育館

次 第

１．開会挨拶

２．治水対策に関する国・県からの説明

３．地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明

（１）地区別懇談会の振り返りと情報提供

（２）懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向（修正案）について

①復興まちづくりの方向案（前回意見を踏まえた修正案）【資料１】

４．地区ごとの話し合い

（１）復興まちづくりの具体的な取組み方向案について【資料１】【資料２】

〇取組み方針、具体の取組み案について、追加・修正のご意見、地区の将来像に関するご意見

〇具体の取組み方針図案について、追加・修正のご意見、協働の取組みのアイデア

（２）今後の進め方について

５．全体共有

６．その他

７．閉会挨拶

【資料】

・資料１：復興まちづくりの方向とイメージ（案）

・資料２：参考事例

資料１

左岸地区　復興まちづくりの計画（案）【方針・取組み】

地区の将来像または復興まちづくりの目標：『○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○なまち 』

赤字：事務局側での記載事項　青字：検討のポイント

意見集約のキーワード（復興計画の3つの柱）	地区の主な課題（地区の復興まちづくりに向けた主な課題）	取組み方針（課題解決のための取組み方針の柱）	具体の取組み（案）※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建とコミュニティの再生	**□各戸の安全性の向上** ※町内会の活動状況や地域コミュニティのあり方？	**□安全性を高める建て方の誘導**	**□安全性を高める建て方の誘導（例）** ・建物１階のピロティ化、浸水深以上の居室の確保。 ・建物構造の耐水化。・住宅再建に係る各種スキームの説明会の開催。
②力強い地域経済の再生			
③災害に負けないまちづくり 【避難対策】	**□安全な避難ルートの確保** ・土砂災害や浸水の危険性がある道路が多く、道幅も狭いため避難路が脆弱。 ・矢黒の集落内の道が低く、早い時間帯に浸水して通行できなくなるため、孤立化しやすい。避難所（西瀬小学校）、自主避難所（矢黒公民館）や避難場所になる高台（ま心周辺）へ行くルートが浸水しやすい。 **□近所の避難体制の構築（「近助」）** ・消防団や町内会役員には人手もできることも限りがあり、隣近所での助け合いの体制強化が必要。	**□安全な避難路の整備** ・土砂災害の危険区域や浸水しやすい箇所及び避難先（場所、キャパシティ等）を踏まえた避難路の整備を行う。 **□「早めの避難」の徹底** ・避難できる道や方法がある時間帯の「早めの避難」を徹底する。 ・油断を防ぐため、災害の危険性を認識するための手段を整える（事前・発災時）。 **□避難体制の構築** ・班などの小さな単位で高台避難する体制づくりや、町内会・自主防災組織・消防団との連絡体制の構築を行う。	**□地区内の主要な避難路の拡幅整備** **□堤防道路の避難路としての整備（ガードレールの設置）** **□地域性を踏まえた防災マップの作成** ・ハザードマップだけでは読み取れない危険性も含めた地域が主体となった防災マップの作成。 ・避難の必要性を判断する地域独自の「小さなきっかけ」等も掲載する。 **□地域内への実績浸水深の表示** ・昨年の痕跡水位を電柱等に掲示 **□情報発信機能の強化** ・各世帯への防災ラジオの配布（市より、6月から順次配布）。 ・支流の出水状況をきめ細かくインフォメーションする機能の強化。 **□避難支援ツールの配備** （例）防災リヤカー（西間下町） **□避難訓練** ・実際に起こり得る状況を想定した、効果的な避難訓練の実施。
	□緊急時に避難ができる場所の確保 ・指定緊急避難場所まで行けない場合や緊急に避難を要する場合などに、命を守れる避難場所が必要。 ・避難場所、避難所のキャパシティや移動を踏まえた避難が必要。	**□複数の避難場所の確保** ・指定緊急避難場所の他、民間の施設や私有地も含め、水害時の一時避難が可能な避難場所を複数確保する。	**□安全な避難場所の確保** 【西間下町】西間下町公民館、新市庁舎、県振興局 【矢黒町】矢黒町公民館、ま心周辺の高台、蓬莱配水地 【下戸越町】西瀬団地、市営三日原団地 ※避難する時間帯やルート、移動手段等を考慮して判断する必要がある。 ・指定の避難所以外で垂直避難できそうな施設管理者への相談。 ・隣接する町同士で連携する避難体制の構築 ・ペットの同行避難の対応 **□車での避難場所（駐車場）の確保** (案)県振興局、新市庁舎周辺（弓道場や社会福祉協議会付近）、高台の民地 等 **□避難所の混雑状況の可視化** ・スマートフォンで避難所の空き状況を確認できるアプリの導入。
	□ペットの同行避難への対応 ・避難所へのペットの同行避難の希望について、対応を検討しておく必要がある。	**□避難所または自主避難所の運営方法の検討** ・ペットの同行避難の他、避難や避難生活に関する地域のニーズに備え、事前の検討を行う。 ・車での避難ができる場所（駐車場）の確保も必要。 ・避難先が一箇所に集中しないよう、分散させる工夫も必要。 ※避難方法の具体化（時期、ルート、場所、運営面）	
【治水・土砂災害対策】 【復興まちづくり】	**□球磨川と急傾斜地に挟まれている** ・左岸地区は、球磨川の氾濫以外に、山から支川や農業用水路に流れ込んだ水があふれて浸水する他、土砂災害の危険性もある。 ・矢黒第二排水樋管周辺は浸水しやすく、周辺の低い道路は早い時間帯から通行不能になる。	**□避難路確保のための急傾斜地対策** ・避難路の安全性を上げるため、急傾斜地対策を行う。 **□治水＋排水対策の強化** ・矢黒第二排水樋管の排水機能の強化。（改善できれば、周辺の道路を通行できる時間が長くなる）	**□急傾斜地対策** **□矢黒第二排水樋管周辺の改善** ・堤防の嵩上げ＋下水管の高さを上げる。 **□避難場所となる防災拠点の整備（西瀬コミセン、新市庁舎）** ・西瀬コミュニティセンターを、水害時にも避難が可能な場所で、防災まちづくり拠点の機能を持つ施設として整備する。 ※整備する場合に「必要な機能」や「管理・運営面の課題」は？

左岸地区　現況　・　令和2年7月豪雨の被害　・　災害危険性

令和２年７月豪雨の状況
※懇談会での情報を元に作成

Ｒ２年７月豪雨　当時の様子（地区別懇談会参加者撮影）

避難場所・避難所
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 福祉避難所

道路幅員
- 15m以上
- 6m以上15m未満
- 4m以上6m未満
- 4m未満

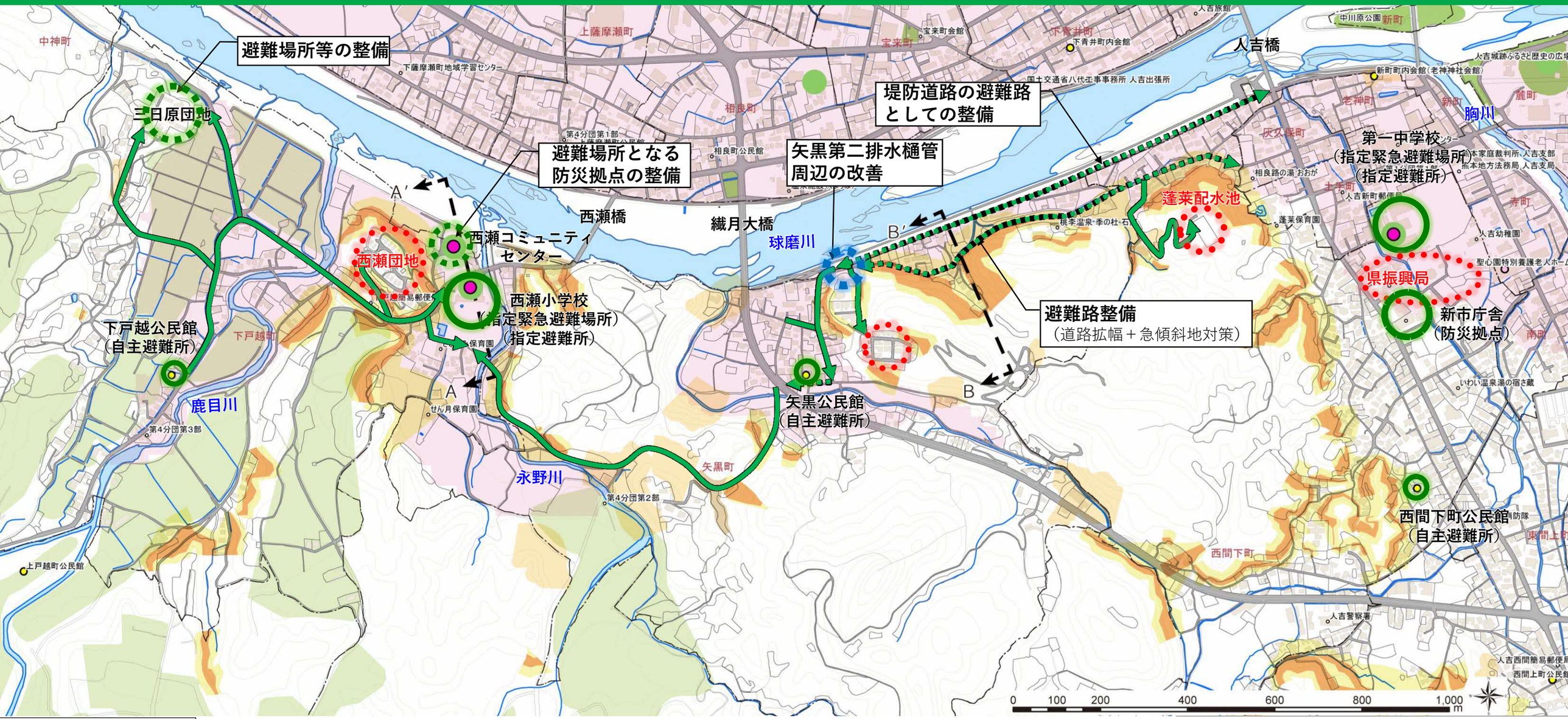
土砂災害の危険区域
- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
- 地すべり調査予定
- 急傾斜地調査予定
- 土石流調査予定

浸水想定区域
- 想定最大規模（L2）

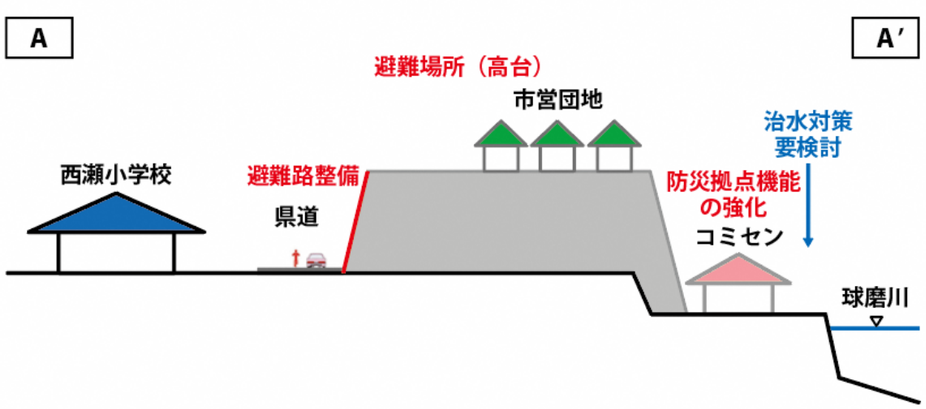
その他
- 農用地区域

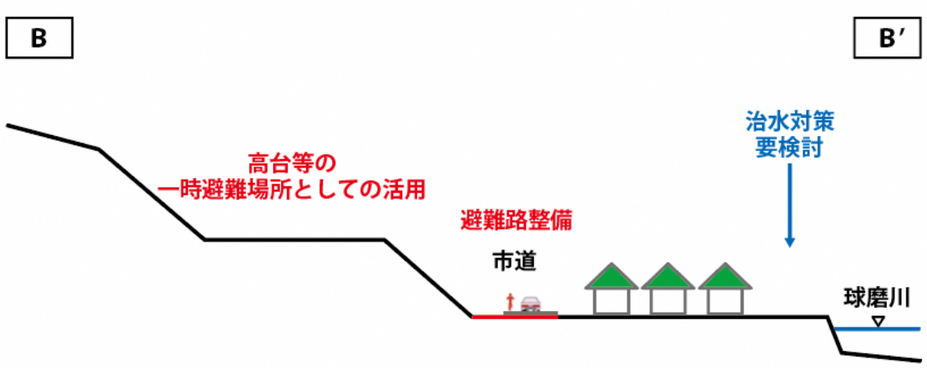
Ｒ２年７月豪雨　実績浸水深
- 浸水区域
- 0.5m未満の区域
- 0.5m以上　～　1.0m未満
- 1.0m以上　～　2.0m未満
- 2.0m以上　～　3.0m未満
- 3.0m以上　～　4.0m未満
- 4.0m以上　～　5.0m未満
- 5.0m以上　～　6.0m未満
- 6.0m以上　～　7.0m未満
- 7.0m以上　～　8.0m未満
- 8.0m以上の区域

左岸地区　復興まちづくり計画（案）【広域図・避難ルート図】



断面イメージ図





計画（案）
- 避難路
- 避難路※
- 避難場所、避難所
- 避難場所、避難所※
- 安全な避難場所
- ※要整備

避難場所・避難所
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 福祉避難所

土砂災害の危険区域
- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
- 地すべり調査予定
- 急傾斜地調査予定
- 土石流調査予定

浸水想定区域
- 想定最大規模（L2）

その他
- 農用地区域

左岸地区　復興まちづくり計画（案）【地区整備方針図】①西瀬小学校周辺

左岸地区　復興まちづくり計画（案）【地区整備方針図】②矢黒町周辺